

健康経営

実践企業に学ぶ

22



吉岡弘修
社長

建築金物の製造販売を50年以上にわたり手掛ける葛城工業。社内一貫生産の体制を整え、安定した製品の供給を実現してきた。市場の変化を敏感に捉え、今後も新しい技術や設備を取り入れてより高い付加価値の製品提供を目指す。

「健康経営は会社、従業員双方にとってプラスになる」と話す吉岡社長。

取引のある保険会社の勧め

葛城工業

で2022年に健康経営を始め、23年から26年まで、4年連続で健康経営優良法人の認定を受けている。

認定後も社内の「健康づくり委員会」が主体となって健康経営を推進。協会けんぽ奈良支部の「職場まるごと健康宣言」を活用し、全社員の健康目標を掲げるなど、社内の健康づくりに取り組んでいる。

「健康づくりの土台があり、従業員の健康経営への抵抗はなかった」と吉岡社長は振り返る。

健康に役立つ資料を用意して各部署へ掲示する活動のほか、ゴミ拾いしながら近隣を歩く全従業員参加のウォーキングイベントも年に2回程度

美化緑化委員会が育てる花々。健康づくり委員会以外にも多彩な委員会があり、従業員が活動している



実施している。ウォーキングは体を動かしながら従業員同士が他愛もない話ができる機会となり、社内のコミュニケーションにも役立っているという。

どの従業員の健診結果が良好という。「従業員のご家族にも安心していただけるのが良い」と吉岡社長。

健康経営優良法人の上位500社に与えられる「プライ

吉岡社長は「健康は心身のバランスが大切」と言い、仕事から離れてコミュニケーションを取る場は重要と考える。

健康診断の結果を保険会社に送り、数値化した結果を全従業員がスマートフォンで確認できるサービスも取り入れた。健診の結果が芳しくない従業員には、会社からも改善を促す。近年ではほとん

ト500」の取得にも挑戦中。「従業員一人一人が健康意識を向上させることが業績にも良い結果をもたらす。従業員に常に良好な状態で仕事をしてもらえる環境づくりに努める」と話す吉岡社長は「健康経営でもう一段階上のステージに立てるよう、地域との関わりを大事にしながら、地元奈良を盛り上げていきたい」と意気込む。

会社概要

- 所在地/広陵町沢338
- 電話/0745 (56) 6335
- 創業/1974年3月
- 事業内容/建築金物の製造販売、ユニットバスルーム・システムトイレ向けの組立用部材の製造・販売

「奈良新聞 令和8年7月23日付」

健康意識が業績にも良い結果を